

事業概要のご案内

2021

J A 東京あおばレポート

令和2年4月1日～令和3年3月31日



ごあいさつ

日頃、J A東京あおばの組合員・利用者の皆さまには格別のご愛顧いただき厚くお礼を申し上げます。

J A東京あおばは、10年後20年後も地域の中で協同組合としての使命を果たしていくために、令和3年度も引き続き、自己改革に努め、組合員ならびに、地域の皆さまにご信頼、ご愛顧いただけるよう邁進してまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

このレポートは、皆さまが安心してJ A東京あおばをご利用いただけるよう、J A東京あおばの経営内容をご説明したものです。

ご一読いただき、今後ともJ A東京あおばをご利用くださいますようお願い申し上げます。



東京あおば農業協同組合
代表理事組合長

酒井 利博

プロフィール

創 立	平成9年4月1日、J A板橋・練馬・石神井・大泉の4 J Aが合併し、「新しい青葉若葉が成長し、やがて生い茂り見事な大木となるように」「東京にいつまでも木々の青葉や緑を残したい」という願いを込めて『J A東京あおば』が誕生しました。
本店所在地	東京都練馬区高松 5-23-27
地 区	板橋区・北区・豊島区・練馬区
農 業	キャベツを基幹作物として、ダイコンやブロッコリーなど多品目が栽培されており、花卉・果樹・植木・盆栽なども生産されています。また、伝統作物の復活栽培にも取り組んでいます。
出 資 金*	21億 9,829万円
役 職 員 数*	役員33人 職員378人(3月末退職者を除く)
組 合 員 数*	29,044 人(正組合員2,595人 准組合員26,449人)
子 会 社	1 社 (東京協同サービス株式会社)

※数値は、令和3年3月31日現在のものです。

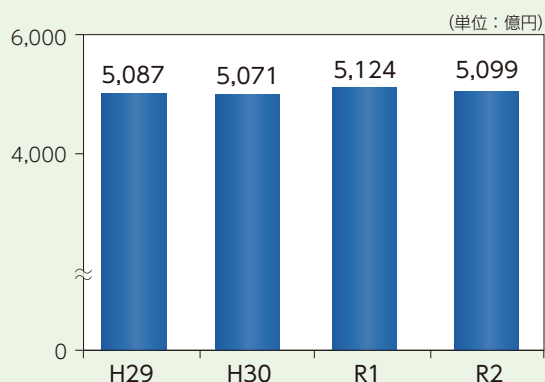
経営内容について

総 資 産	5,511億 4,084万円
組合員資本	371億 1,846万円
事業利益	9億 318万円
経常利益	11億 9,214万円
当期剰余金	9億 8,998万円

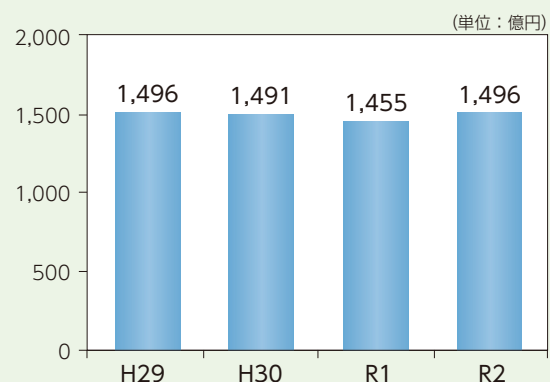
(令和3年3月31日現在)

主な事業実績

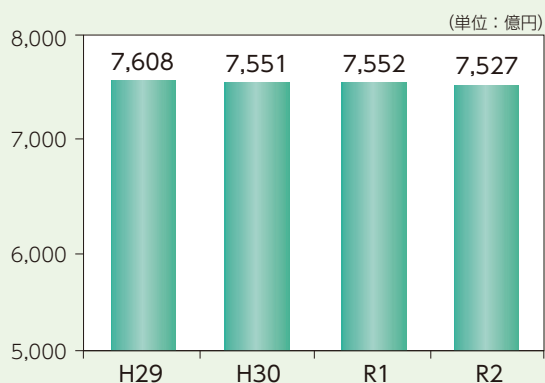
貯金残高の推移



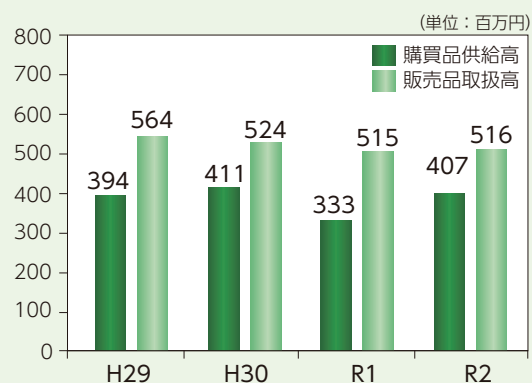
貸出金残高の推移



長期共済保有高の推移



購買品供給高・販売品取扱高の推移



[注] 本レポート中の金額は、単位未満を切り捨て表示しています。

経営の健全性について

17.08%

(令和3年3月31日現在)

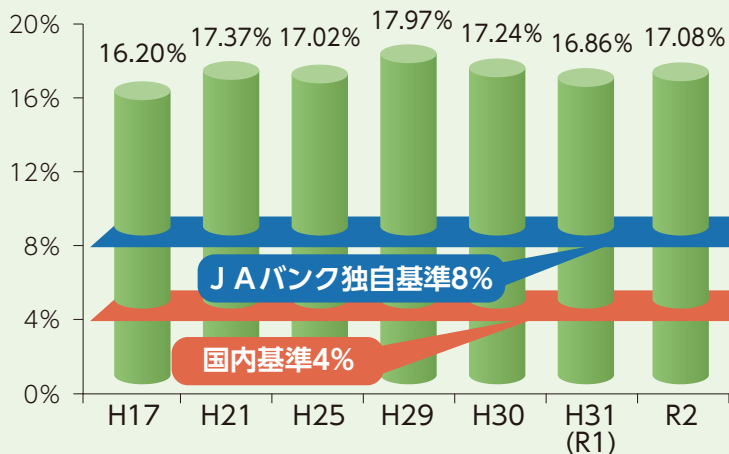
JAバンク独自基準 8%

国内基準4%に対して、国際統一基準である8%をJAバンク独自基準として定め、健全性を高めています。

国内基準 4%

海外営業拠点を有しない銀行の自己資本比率基準は4%以上とするものです。

単体自己資本比率の推移



第8次中期経営計画(令和元年度～令和3年度)取り組み報告

1. 第8次中期経営計画(農業振興計画含む)ー令和元年度～令和3年度ーについて

第8次中期経営計画は、第7次中期経営計画の反省点を踏まえ、J A東京あおばの3つの自己改革「①農業者の所得増大に向けた改革」、「②施設及び事業改革」、「③人づくり人財育成改革」を継続するとともに、職員への周知、J A東京あおばがどう変わるかを示し、掲げた計画は必ず実践するコンセプトのもと、第22回通常総代会にてご承認をいただきました。

令和3年度は、同計画の最終年度として、第8次中期経営計画にかかげる「未来へ続く都市農業の確立」「自己改革の実践とさらなる健全経営の構築」に取り組み、組合員ならびに地域の皆さまの参加・参画をいただきながら、実践に努めてまいります。

2. 第8次中期経営計画(農業振興計画含む)体系図

経営理念

わたしたちは、農業の豊かさ、人の和を大切にし、
地域になくてはならない存在をめざします。

ビジョン

わたしたちJ Aは、くらしのサポーターNo.1を宣言します。

使命

「都市農業を守る」 「組合員のくらしを豊かにする」 「地域の活性化に貢献する」

J A東京あおばの自己改革

- (1) 農業者の所得増大に向けた改革
- (2) 持続可能な経営基盤の確立・強化
- (3) 教育文化活動の実践
- (4) 内部統制の強化
- (5) 財務基盤の強化

第8次中期経営計画(令和元年度～令和3年度)
「未来へ続く都市農業の確立」 「自己改革の実践とさらなる健全経営の構築」

～「人」と「人」が結びつく～ 教育文化活動の実践

第9次中期経営計画

収支構造改革について

<10年後、20年後も元気な「JA東京あおば」であり続けるために>

現在、日本国内では、少子高齢化や人口減少、格差社会が顕在化しています。また、国内の低成長に伴い、資金需要は先細りしていく見通しとなっています。さらに、日銀による超低金利(マイナス金利)政策が長期化し、金融機関の収益は減少傾向にあります。そこに、新型コロナウイルス感染症が拡大し、経済に大きな悪影響を及ぼしております。

当JAでは、組合員皆さまからお預かりした貯金を、上部団体である東京都信用農業協同組合連合会(以下、JAバンク東京信連)を通して農林中央金庫に預けることで、預け金利息・奨励金等の収入を得ており、これを事業収益の大きな柱の一つとしてきました。

預け金利息・奨励金等の水準(金利)は、世界的な超低金利政策のもとでも高い水準にありましたが、超低金利政策が長期化し、資金運用環境が好転する展望が望めず、このまま高い水準を維持し続けることは困難な状況となっております。

そうしたなか、農林中央金庫は令和元年度より、JAバンク東京信連に対する預け金利息・奨励金等の水準(金利)を引き下げ始めました。また、こうした動きを受けて、JAバンク東京信連は令和4年度より、当JAに対する預け金利息・奨励金等の水準(金利)を段階的に引き下げることを選定いたしました。

「JAバンク東京信連からの預け金利息・奨励金等の収入を期待するビジネスモデル」は限界を迎えました。このビジネスモデルから脱却していかなければなりません。そこで、自立して総合事業(信用・共済・指導経済等)を継続していくことで、組合員サービスを維持・提供していけるよう、「収支構造改革」に取り組むこととし、①経費削減・②収入増加・③業務改善に取り組みました。

収支構造改革のめざす姿

1. 財務基盤を強化し、経営を安定させることで、組合員の皆さまに安心してご利用いただけるようにします。
2. 事業の専門性を発揮し、相談機能を強化することで、多様なニーズ・相談にお応えします。
3. 今までより元気で、明るく、活気づくJA東京あおばとして、自立して総合事業(信用・共済・指導経済等)を継続していきます。



収支構造改革重点取組事項 9項目

- (1) 第2期支店再編計画の策定
- (2) 地域振興事業戦略構築
- (3) 信用事業 融資伸長
- (4) 審査態勢の見直し
- (5) 渉外のあり方について(くらしの相談・共済LAを含む)
- (6) 東京協同サービス(株)との事業連携のあり方について
- (7) 業務コストの見直し
- (8) 人財育成・働き方改革
- (9) 業務量調査結果の課題解消に向けて

令和3年度 基本方針

J A東京あおばの自己改革

—10年後、20年後も元気な「J A東京あおば」であり続けるために—

農業者の所得増大に向けた改革

—第8次中期経営計画(農業振興計画含む)を基軸に地域振興—

組合員の声を反映させた第8次中期経営計画(令和元年度～令和3年度)を基軸に、都市農業・都市農地にかかる諸制度の周知と特定生産緑地の指定促進を続け、生産効率化の提案や肥料・農薬等の価格引き下げ、農畜産物に対する付加価値を増大させ、意欲ある農業者の所得増大に向けて引き続き取り組みます。

「J A営農・経済事業の成長・効率化プログラム」で策定したアクションプランの実践に努めます。

持続可能な経営基盤の確立・強化

農林中央金庫が示す奨励金水準等の段階的な見直しが行われる期間中(令和2年度～令和4年度)に持続可能な経営基盤の確立・強化に向けた収支構造改革が必須です。持続可能な経営基盤の確立・強化に向けて、①経費削減・②収入増加・③業務改善に取り組み、収支構造改革を図ります。

教育文化活動の実践

将来のJ A東京あおばを担う組合員・職員を育成するために、協同組合の基本理念を学び、J Aへの理解を深めるとともに視野を広げ、協同活動を実践してまいります。

内部統制の強化

- (1) コンプライアンス(法令遵守)を第一に、事業活動を行います。
- (2) 業務の有効性および効率性の向上をめざします。
- (3) 資産の運用を適正に行い、その保全を図ります。
- (4) 監査法人との連携を円滑にし、財務報告の信頼性を高めます。

財務基盤の強化

自己資本規制(バーゼルⅢ)のもとで、安定した財務基盤を確立するため、自己資本の充実を図ります。

人材から人財へ(職員の各種資格取得状況)

JA東京あおばは、組合員・利用者の皆さまのさまざまなニーズや相談にお答えするために、人財育成プログラムの一環として各種資格取得を奨励しています。

こちらに表記しているものは資格試験の名称です。令和3年3月31日現在資格保有人数累計(子会社含む。期末退職者除く)

()は令和2年度取得人数

農業協同組合監査士……………8名	JGAP指導員……………6名
中小企業診断士……………1名	JAバンク農業金融プランナー・4名
社会保険労務士……………2名	日本農業検定1級……………21名(3)
CFP・1級FP技能士……………2名	日本農業検定2級……………116名(4)
AFP・2級FP技能士……………76名(13)	日本農業検定3級……………114名(3)
DCプランナー2級(企業年金)……………2名	野菜ソムリエ……………8名
	毒物劇物取扱者……………37名(1)
宅地建物取引士(旧宅地建物取引主任者)55名(1)	ホームヘルパー2級……………12名
不動産コンサルティングマスター……………6名(1)	ホームヘルパー3級……………3名
賃貸不動産経営管理士……………16名(2)	
行政書士……………3名	JA職員資格認証
総合旅行業務取扱管理者……………4名	農業協同組合内部監査士……………44名(3)
国内旅行業務取扱管理者……………6名	営農指導員……………26名
内部管理責任者(証券外務員)……………195名(7)	上級……………243名(16)
第1種証券外務員……………279名(12)	中級……………54名(12)
第2種証券外務員……………46名(11)	初級……………44名(17)
損害保険募集人……………157名(18)	
遺言信託(信託業務)……………135名	※JA職員資格認証試験とは、職員の資質及び
個人情報取扱主任者……………156名(70)	技術の向上を図り、JAの社会的・使命を全う
金融AMLオフィサー[実践]……………83名(25)	する人材を養成することを基本理念とした
金融AMLオフィサー[基本]……………109名(23)	JAシステムの内部試験です。

JA綱領 - わたしたちJAのめざすもの -

わたしたちJAの組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則(自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等)に基づき行動します。そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは

1. 地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
1. 環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
1. JAへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
1. 自主・自立と民主的運営の基本に立ち、JAを健全に経営し信頼を高めよう。
1. 協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがい追求しよう。

(1997年 第21回 JA全国大会決議)

経営理念

わたしたちは、農業の豊かさ、人の和を大切にし、地域になくてはならない存在をめざします。

ビジョン

わたしたちJAは、くらしのサポーターNo. 1を宣言します。

使命

- 1 都市農業を守る
- 2 組合員のくらしを豊かにする
- 3 地域の活性化に貢献する

価値観

わたしたちは、「4つの満足(4S)の向上」を、事業活動を展開するうえでの共通の価値観とし、経営理念の実現をめざします。

組合員満足 (MS)

組合員が、JAへの積極的な参加・参画によって協同の成果を実現し、都市農業の振興をはじめそれぞれの願いが果たされること

組織満足 (SS)

組織が健全に経営され、信頼されるJAとして、地域になくてはならない存在であり続けること



地域満足 (AS)

JAが、協同の輪を地域に広げ、地域の活性化・持続的発展に貢献することにより、地域の皆さまのくらしが豊かになること

職員満足 (ES)

職員が、働くよろこび、仕事のやりがいを通じて成長し、心を高められる職場であること

JA東京あおばは、組合員・利用者皆さまの声を誠実に受け止めます。

JA東京あおばでは、組合員・利用者皆さまにご満足いただけますよう日頃から心がけておりますが、当JAの事業・活動について、ご意見ご要望等がございましたら、下記の窓口にて受け付けておりますので、お気軽にお申し出ください。

経営企画部 経営企画課 TEL.03-5372-1312

当JAに関する情報はこちらのホームページでご覧になれます。

受付時間

月～金曜日(土日祝日を除く)
午前9時～午後5時

検索 JA東京あおば



<https://www.ja-tokyoaoba.or.jp/>